

講義年月日 2007年7月9日(月)

講演者 柳澤 昌明氏(上智大学国際学術情報局図書館主幹)

テーマ 資料移転作業(2005年度実施)について

講義内容

- ・上智大学図書館は四谷キャンパスに中央図書館と法科大学院図書室、市谷キャンパスの図書館市谷分室(学部改組により2005年度末で四谷キャンパスに移転)を設置。
- ・中央図書館の収容能力冊数は約125万冊程度
- ・現在の蔵書数は概算で、図書が102万冊、製本雑誌が約32万冊
- ・配架スペース確保のため、四谷キャンパス内2号館(2005年3月竣工)地下3Fに集密書庫を設置し、大規模な図書館資料の移転作業を実施。

<移転作業期間>

- ・2号館集密書庫への移転 2005年8月11日~24日(委託)
- ・館内書架調整 2005年9月1日~16日(委託)
- ・市谷分室蔵書点検 2006年2月6日~9日
- ・市谷分室の四谷移転・配架 2006年2月9日~17日(委託)
- ・館内書架調整 2006年2月中旬~3月末日
- ・2号館蔵書点検 2006年3月1日~10日
- ・作業実施のための事前準備期間は含まない

<移転対象資料>

1. 2号館への移転

- ・移転対象資料を決定する際には、図書館委員会に諮り、承諾を得た。
- ・図書:利用頻度の低い旧分類SC分類(Sophia Classification)図書(1980年代前半までに受入した図書)を中心に約10万冊。
- ・雑誌・紀要:終刊・廃刊・中止等のタイトル及び継続タイトルの1990年以前分のバックナンバーを中心に約15万冊。また学科毎に除外希望タイトル2件を認めた。

2. 市谷分室移転 約5万冊

<移転準備作業>

- ・資料の所蔵管理データの変更
- ・移転先書架の決定
- ・資料現物へのラベル・シールの貼付作業
- ・蔵書点検、シェルフリーディング

<移転後処理>

- ・移転対象資料の配架場所データの変更作業
- ・シェルフリーディング、蔵書点検
- ・所蔵データの変更不備の確認

- ・調査により紛失が明らかになった資料の除籍処理
- ・図書館ホームページ・OPAC 等での利用者への資料移転情報の通知
- ・2号館集密書庫は閉架式で、出納方式での利用。出納作業に支障をきたさないよう業務用
揭示物・案内表示の作成
- ・所蔵データの変更ミス等は発覚時に修正

< 所感 >

- ・2005年は学内でも移転の年であった。
- ・利用者に不便をかけないように移転時期を設定。(夏期・春期休暇期間、入試期間)
- ・限られた時間のため図書館内全館の協力体制が必要。
- ・役割分担の明確化、タイムスケジュール管理が重要。
- ・委託業者との事前打ち合わせ、情報の共有が必要。
- ・今年の夏も5件ほど移転作業がある。